

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	8	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	企画財政課			
施策	144世界と結びつく国際化の促進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センター機能の拡充として、引き続きプラザ通信の発行やプラザカフェを実施するとともに、新たに英会話教室を開催するなど、センターの認知度を高める取組みを実施していく。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	センター実施計画に基づき、センター自主事業やホストファミリー交流会を開催して、センターや姉妹都市の認知度向上、利用者増加につなげていく。
②①に基づく取組み結果	センター自主事業(英会話教室)やホストファミリー交流会などの開催を通じて、センターや姉妹都市の認知度向上につながった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の外国人及び日本人	意図(対象をどうするのか)	多文化共生社会の実現
②事務事業の概要	多文化共生推進センター(愛称:かまがやワールドプラザ)を管理・運営していくもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	外国人住民が増加傾向にある中で、今後も外国人の方が暮らしやすいまちづくりに繋がる施策を実施していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	①プラザ通信の発行(年2回)、②センター自主事業(英会話教室・2回)、③ホストファミリー交流会の開催(年3回)、④センタースタッフ会議の開催(年12回)					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 市内外国人数	1,248	1,364	1,488	人	統計かまがや
	ii 多文化共生推進連絡協議会団体数	4	4	4	団体	業務取得
	iii 多文化共生推進センター来所者数	3,435	2,827	2,383	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	4,832	5,089	金額(千円)	内容	5,249	
	国支出金(千円)		1,086	プロジェクトマネージャー報酬		
	県支出金(千円)		2,721	非常勤職員賃金		
	市債その他(千円)		914	通訳ボランティア謝礼		
	一般財源(千円)	4,832	5,089		5,249	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	多文化共生推進センターに対する市民の認知度が低いこと。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	多文化共生社会を実現するための拠点施設として位置付けられているセンターのPRを推進していく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越	
		H27⇒28繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成30年度への繰越額					